



救命救急における性暴力・DV・虐待対応の重要性とSANEの役割

米国ネブラスカ大学メディカルセンター救命救急部門のチーム

救命救急における性暴力・DV・虐待対応の重要性とSANEの活動について研修およびシンポジウムを企画しました。

* 日本語の資料と逐次通訳付きです。



日時: 2020年2月8日(土) 9:30~16:30

場所: 名古屋第二赤十字病院 10階 加藤化学記念カンファレンスホール

内容:

午前の部 9:30-12:30 SANE既受講者対象
SANEアドバンスト研修

講師: エイミー・ミードさん


Amy Mead, MBA, BSN, RN, CEN


救急医療センターのSANE, ナース・マネージャー


3 講義(各1時間)

- ① Strangulation: Assessment and Identification of Injury
絞頸: アセスメントと創傷の同定
- ② Human Trafficking: Identification and the Role of the Health Care Provider
人身取引: 被害の同定と医療従事者の役割
- ③ Sexual Assault Nurse Examiner Program in the United States
米国の性暴力被害者支援看護職(SANE)プログラム



 性暴力救援センター日赤なごや「なごみ」では、医療・司法・行政にまたがる病院拠点型ワンストップ支援センターとして、地域連携機関とともに、被害直後から中長期の支援を提供しています。安定した24時間対応を可能にしている要因の一つは性暴力被害者支援看護師 (**Sexual Assault Nurse Examiner : SANE**) の活用であり、現在全国から注目を集めています。

 SANEの活動は、1960年代に米国ではじまりました。現在ではSANEは全米各地で受講でき、州によっては無料で受講できます。現在では学問として大学院教育に組み込まれ、フォレンジック看護という分野が確立しています。大学院で教育を受けた**APRN** (Advanced Practice Registered Nurse) は、**FNP** (Forensic Nurse Practitioner) と呼ばれています。

 DVや性暴力被害の対応は、災害や救急医療において包括的に組み込まれているため、プロジェクトチームには日常的にSANEやFNPが含まれています。

午後の部1 13:30-15:30 シンポジウム

救命救急部門とネブラスカ大学のSANEプログラムの概要

Overview of the Emergency Department and SANE Program at
Nebraska Medicine

対象: 名古屋第二赤十字病院および愛知県内救命救急センターがある病院のスタッフとSANEですが、SANEプログラム未受講の看護師その他関連のみなさまもご参加いただけます。



Wesley Zeger, DO
Associate Professor &
Executive Vice Chair
ウェズリー・ゼーガーさん



Thang Nguyen, MSN,
APRN
Faculty Instructor
ターン・ヌグエンさん



Amy Mead, MBA, BSN,
RN, CEN
SANE, Nurse Manager
エイミー・ミードさん

Nebraska Medicine, Emergency Department
University of Nebraska Medical Center

午後の部2 15:30-16:00

質疑・フリーディスカッション

参加費無料 お申し込みは不要です。

- 問い合わせ: 日本福祉大学 長江美代子 mnagae@n-fukushi.ac.jp
- 共 催: ネブラスカ大, 性暴力救援センター日赤なごや「なごみ」
日本フォレンジックヒューマンケアセンター(NFHCC)
- 協 力: 日本福祉大学看護実践研究センター、名古屋第二赤十字病院

本研究は、JST、RISTEX、JPMJRX1914の支援を受けて実施しています。

「性暴力撲滅に向けた早期介入とPTSD予防のための人材育成と社会システムづくり」